



認知症

もの忘れ



少しでも気になった方は

当院へご相談ください



当院では認知症に対する新薬

レカネマブ(レケンビ®) および ドナネマブ(ケサンラ®)の投与を行っております。

2023年に日本でもアルツハイマー病に対する抗アミロイドβ抗体薬が薬事承認されたことを受け、現在当院では抗アミロイドβ抗体薬投与に対応した「もの忘れ外来」を開設しています。

レカネマブ(レケンビ®)とドナネマブ(ケサンラ®)は、脳内に蓄積することでアルツハイマー病を発症する原因となる「アミロイドβ」というタンパク質を除去することによって、症状の進行を直接抑制する効果が期待できる新しい薬剤です。

受診対象

もの忘れなどの症状が気になる方



新薬投与の適応の有無は検査の上判断いたします

レケンビ®およびケサンラ®の新薬投与の適応は、「アルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)または軽度認知症」です。認知機能低下がない方、認知症があってもアルツハイマー病以外の認知症の方、進行した認知症の方は投与の対象となりません。対象か否かは診察、検査結果を総合的に判断いたします。

※新薬の適応とならなかった場合でも、従来薬による治療をはじめとした診療方針をご相談していきます。

外来診療について

外来診療時間	毎週 月曜日 14:00~16:00
担当医師	神経内科専門医 中西 達彌

予約

予約センターにお電話をお願いいたします。

その際に「認知症やもの忘れが気になる」旨をお伝えください。

予約センター

045-402-7015

8:30~17:30 ※日曜・祝日を除く

初診

専門医による問診・診察を行います。

アルツハイマー病の可能性があると判断されれば各種検査

採血 脳MRI 心理検査 髄液検査 のご提案をいたします。

初診当日は、紹介状ならびにマイナンバーカード(マイナ保険証)または資格確認書をご持参ください。

- ※ 初診では検査日程を決定し、検査自体は別の日に受けていただけます。
- ※ 採血、脳MRI、心理検査では、アルツハイマー病以外の原因による認知機能低下の可能性、新薬に特有の脳浮腫・脳出血といった副作用リスクの高さ、認知機能低下の程度を評価します。
- ※ 既に他院で脳MRI検査をされている場合も、その時期や内容によっては改めて当院規定の撮影条件によるMRI検査を受けていただくことがあります。
- ※ 髄液検査では、腰に針を刺して脳脊髄液を採取し、アミロイドβ蛋白が脳内に蓄積しているかどうかを確認します。
- ※ 診察及び検査時には同居のご家族様の付き添いが必要です。受診日はご同行くださるようお願いいたします。
- ※ 検査は基本的に外来で全て施行できますが、希望があれば短期入院(日帰り~1泊2日)でも施行可能です。
- ※ 全ての検査を受けるかどうか、その場で決めなくても構いません。特に髄液検査は侵襲を伴うため、受けるかどうかすぐには決められないことが多いです。しかし、全検査を完了しない限り新薬の投与はできません。

再診

検査結果を総合的に判断して、適応であれば治療のスケジュールを決めていきます。

新薬の投与対象は厳格に規定されており、全ての方が適応となるわけではありません

適応外であった場合には、従来薬の治療をするかどうかを含めた今後の方針をご相談いたします。

初回投与

レカナマブ(レケンビ®)

2週間に1回

ドナマブ(ケサンラ®)

4週間に1回

約1時間かけて点滴を行います。

初回投与時は副作用確認のため1泊2日の入院で投薬を行うことをお勧めいたします。

- ※ 薬剤投与後に、インフュージョンリアクションと呼ばれる発熱、頭痛、嘔気などの副作用が出現しうることが知られています。そのため初回投与時は、1泊2日の入院で投薬を行うことをお勧めしております。2回目以降の投薬は外来で行います。外来では一定の時間、点滴終了後に状態を観察する時間を頂いております。投与開始から特に半年間は脳浮腫や脳出血などの副作用が生じやすいため、定期的に頭部MRI検査を受けていただけます。